

## 1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> その他（キャリア教育）	

## 2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校のESDは、「発信！行動！交流！」をキーワードとして、活動に取り組んでいる。

特に、「①福祉・環境・生き方(キャリア教育)・世界遺産の課題に対して、ねらいを明確にして各教科と関連させた学習を行うこと」「②『ひと・こと・もの』について、自ら課題を見出し、体験活動等を通して、主体的に問題解決できるようにすること」を重点目標としている。



## 3 特徴的な活動事例の紹介

### ○ 身近な所で防災・減災に取り組もう(防災・減災学習)

学校のすぐ横には白銀川が流れており、令和2年7月の豪雨では白銀川が氾濫し、グラウンドや周辺の道路、体育館の床下まで浸水するなど、大変な状況であった。

そこで、1年生では、防災・減災学習に取り組み、想定される災害や、発災時の避難行動に関する学習を行っている。

本年度は学校周辺の危険箇所をフィールドワークで確認したり、令和2年7月豪雨発生時の市内の状況や防災活動について学んだりした。また、防災グッズの使い方や必要性について考え、災害情報をいち早く知るための手段や、心構えについて学んだ。学習した内容は「防災・減災ポスター」としてまとめ、自助・共助等の意識の向上を図った。



## ○ 将来の生き方にかかわる学習(職場体験学習)

2年生では、自分の興味・関心や適性について考え、「働く」ことがどのようなことであるか学習した上で、講師として招いた3事業所の方に、仕事の内容や厳しさ、仕事のやりがいや喜びなどについて話していただいた。

また、大牟田市内の11の事業所に分かれて、職場体験学習を2日間行った。その中で、社会人としての責任や人とのつながりについて考え、挨拶や礼儀、自分のことだけでなく人のことを考えて行動することの大切さを身につけることができた。また、「働く」ことの喜びや大切さ、苦悩、地域の現状や地域の事業所の活躍を肌で感じ、地域の素晴らしさや将来の展望を考える機会にすることができた。



## ○ 「幼児との遊び」を企画し、触れ合う(保育体験学習)

3年生では、キャリア教育の一環として、保育体験を行った。幼児の特性や、幼児に接する上で注意することを学習した後、班に分かれて、年齢に合わせた保育のための遊び道具の作製や進行等を考えた。

体験を通して、生命の尊さに改めて気づき、幼児と接する中で、コミュニケーションや言葉遣い、目線や姿勢の大切さや、優しく思いやる気持ちや行動をとることの必要性を実感することができた。



## 3 今後の活動計画

令和7年度は、今年度の取り組みをもとに体験活動や探究活動に取り組んでいきたい。

- 1 3年間を通しての防災・減災教育・福祉教育・キャリア教育が系統的なカリキュラムになるように見直しを図っていく。
- 2 地域の「ひと・もの・こと」と関わりをもち、最大限活用できるようにしていく。
- 3 さまざまな体験活動や協働学習を促進し、子どもたちの能力を広げていく。